記載例

『歯科疾患管理計画書（継続用）

〔現在のお口の状態〕（継続中）

2008 年 4 月 10 日

協会　太郎　様

① 現在の状態
- ☑治療の継続中　□治療・管理の変更
- □一時的病状安定

② 今後の治療予定
- □むし歯治療　☑歯周病の治療
- □被せもの　□ブリッジ　□義歯
- □その他（　　）

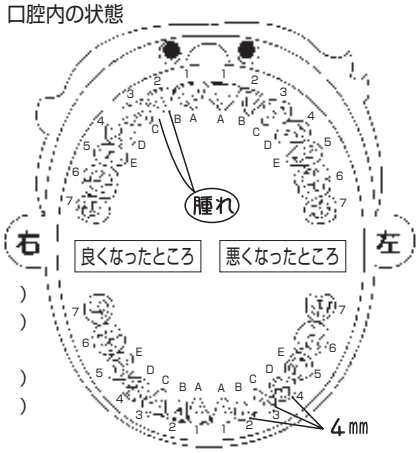
③ 歯肉の状態

歯肉の炎症	なし・(あり)（　　）
歯石	(なし)・あり（　　）
歯の動揺	0・1・2・3
歯周ポケット(4㎜以上)	なし・(あり)（　　）
骨吸収度	なし・(あり)（　　）

④ 生活習慣の状況

歯みがきの回数	1・2・(3)・4
補助清掃器具の使用	(なし)・あり（　　）
間食・飲みもの	(規則的)・不規則
喫煙（本数の減少）	(なし)・あり（　　本）
睡眠時間	増・減（　8　時間）

口腔内の状態



保険医療機関名　全国歯科医院

担当歯科医師名　保険医　太郎

キ リ ト リ

協会　太郎 様

2008 年 4 月 10 日
（10:00～10:20）

プラークの状態

衛生士からのアドバイス

指導法
- 歯と歯の間（歯間ブラシ　フロス）
- 表側（スクラビング法）歯ブラシの強さ〔　　〕
- 裏側（かかと磨き）その他〔　　〕）

歯と歯肉の状態
- □よくみがけています
- ☑みがき残し（色のついている所）
- ☑歯肉に発赤、腫れがあります
- □歯石がついています

家庭での留意点
- □食生活　□くいしばり等　□その他（　　）

保険医療機関名　全国歯科医院

担当歯科衛生士　保険医　花子

算定要件および文書記載に必要な内容

【歯科疾患管理計画書の継続用の発行時期】

―控えをカルテに添付してください―

①管理計画書に変更がない場合は、3ヵ月に1回以上は提供する。

②ただし、下記の場合のように療養上必要なときは、その都度提供する。
- 管理計画書の内容に変更があったとき
- 検査により、病状が一時的に安定したと判断されるとき（歯周病患者は、歯周組織検査を実施）
- 一連の補綴治療が終了したとき

【歯科衛生実地指導の算定要件、必要記載事項】

―控えを歯科衛生士業務記録簿に添付してください―

(1) 歯科医師の指示を受け、15分以上実地指導を行い、指導内容に係る文書提供をした場合に算定する。

(2) 文書発行時期
- 初回の指導のとき
- 指導内容に変更があったとき
- 3ヵ月に1回以上、もしくは3回の指導のうち1回以上

(3) 必要記載事項

①指導等の内容
- 歯および歯肉等口腔状況の説明
- プラークチャートを用いてプラークの付着状況の指摘、患者自身によるブラッシングを観察した上でのプラークの除去方法の指導
- 家庭において特に注意すべき療養指導

②プラークの付着状況結果

③指導の実施時刻（開始時刻と終了時刻）

④保険医療機関名

⑤当該指導に係る指示をした歯科医師名と歯科衛生士の署名

算定要件などをご確認のうえ実態に合わせてご利用ください